

新宮市立5中学校で卒業式



絆をひとつに歌を合唱する卒業生(城南中)

新宮市立の5中学校の卒業式が6日、各校であった。なんと過ごした日々の中で、数え切れない思い出を作ることができました。先輩が残してくれた思いを受け継ぎ、より良いものにした」と感謝の気持ちを語った。

新型コロナウイルス感染症対策で、規模縮小や時間短縮で実施。このうち、城南中学校では、卒業生50人(男子30人、女子24人)が出席した。

し、保護者や教職員に見守られながら学び舎(や)を巣立ち、それぞれの道に向かって一歩を踏み出した。割れんばかりの拍手を受け、卒業生が入場。ピアノの伴奏に乗せて、国歌や市の

職員のサプライズに涙

城南中 3年間の思い出胸に

歌、校歌を斉唱した。

中田善夫校長は一人一人に卒業証書を渡し、「3年間で大きく成長した皆さんの前途を祝福するとともに、これからの人生で大切にしたいことがある」と述べ「継続は力なり」「人とのコミュニケーションを大切に、自分で考える習慣をつける」の2つの言葉を送った。

その後、卒業生は心を一つに「3月9日」を合唱。教職員がサプライズで「贈る言葉」を歌うと、あふれる涙を裾で拭いながら聞き入った。

在校生を代表して出席した仮谷心さん(2年)は、「皆予定。(香川真夕)